

KOCHI 2017 ROTARY 2018 CLUB SINCE 1937



ロータリー:変化をもたらす
2017-18年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3316回

2017年 8月29日 2017年 9月 5日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。今日は朝から北朝鮮のミサイルのニュースばかり聞いてましたが、生のピアノ演奏はいいものだと思います。山内先生、どうもありがとうございました。

協口会員がブラジルのカンポグランデRCにメイカップして、バナナをいただいてこられたということで、回覧しますのでごらんください。

お盆休みは、皆さん、ご実家に帰られたり旅行に行った方も多いと思います。私も娘が帰ってきて、京都に帰る時に家族で便乗して行ってきました。せっかくだからと川床を予約したのですが、ほとんどのところは満杯で、空いているところはすごい値段です。趣向を変えてイタリアンの店(1400坪ぐらいの店)に行ったのですが、非常によくて、ちょっと穴場を狙うのはいいなと思いました。

観光地も、団体客の行けない詩仙堂と延暦寺、ほとんど外人さんのいない所を狙って、余り人のいない京都はいいなと思いました。同じようなことを考える人もいるみたいで、

京都新聞に、朝8時ぐらいから、余り人のいない時間帯の観光が人気だと言う記事が出ていました。高知もインバウンドで多くの外国の方が客船で来ている。ひろめ市場なんか人が溢れていてすごくいいと思いますが、まだまだ本当の日本を感じるような場所というのは、高知にもたくさんあると思います。そういうところを知って欲しいなと。でも、あんまり有名にはなって欲しくないなと、そんな気がした夏でした。

今日は、お客様として皆さんご存知の野中元会員がお見えます。「教育支援事業にかけた思い」ということで、お話を伺います。



■本日のプログラム [9月 5日]

ゲストスピーチ

高知工科大学 ものづくり先端技術研究所
室長 松本 泰典 氏
「スラリーアイス製造装置とその利用」

会 長	高 村 禎 二
副 会 長	横 田 英 毅
幹 事	高 橋 明 子
副 幹 事	中 島 和 代
会報責任者	古 谷 純 代

● **ロータリーソング** 「夏の思い出」

● **今週のピアノ曲** 「ジャニーギター」 ピアノ演奏：山内りり会員



● **80周年ゴルフ委員会より**

10月8日に黒潮カントリーで記念コンペを行います。出席できるのに、まだ出していない方がおられましたら、今日、私か川崎さんに声を掛けていただけたらと思います。よろしくお願いします。



● **会長報告**

地区大会が11月17日から19日に開催されます。本日、FAXを送りますので出欠の記入をお願いします。締切は9月21日です。

● **幹事報告**

- ・情報集会の組み合わせ表をFAXで送付しました。変更のある方は事務局までお願いします。当日変更の方は会長または幹事までご連絡ください。
- ・米山梅吉記念館より、官報2017年秋号が届いていますので回覧します。秋季例祭が9月16日土曜日14時から梅吉記念館で開催される予定です。



● **ゲストスピーチ**

教育支援事業にかけた思い

元会員 野中 朋之 氏



2004年、ロータリーが100周年を迎えたとき、私はガバナー補佐を命ぜられました。第1回の打ち合わせ会のとき、ガバナーノミニーからいきなり「あなたのロータリー感を聞かせてください」と言われ、何の準備もなかったので出まかせに「ロータリーは規則規則と難しく言い過ぎる。細かいところまで言うけど、そんなことを言わなくても日本のロータリーは非常に真面目で、R Iがこうしなさいというと、そのとおりに守ってちゃんとしている。そんな日本に対して難しい規則を言う必要はないんじゃないか。もっと自由にやらしたら、日本のロータリーはいい活動ができると思います。職業奉仕がロータリーの基本ですが、それをほったらかして、今のロータリーはほとんど国際奉仕に精力を費やしている。私どもが毎月払う会費も、大半が国際奉仕に費やされている。それでいいんですか」と言いました。

ガバナーから、何か反論があるかと思うと「私もそう思います。この100周年の来し方を振り返り、今本当にロータリーは正しい道を歩んでおるのか。これからどのようにしていくべきか。そういうことを話し合う1年にしましょう」と言われ、「友よ、ロータリーを語ろう」というターゲットを掲げました。

この100周年の年度にR Iは「ロータリーを祝おう」というテーマと同時に、今ロータリーはどこにいるのか、何をしているのか、これからどこへ向かおうとしているのか、それは正しい方向だろうかということをしつかり話し合っただけで、次の100年に進もうということになりました。

皆さんのお手元に、『ロータリーの友』に掲載された佐藤千壽パストガバナーの「巡礼」という記事をお配りしました。これはロータリー100周年に因んで書かれたもので、この記事のもとなるのは、前R I会長のビチャイ・ラタクルさんの書かれたものです。また、60周年のときに濱川金兵衛パストガバナーが「奉仕の理想」について書かれたものをお配りしました。私は長くロータリーにいて、最も強烈な印象を受けたのが、これらの文章です。皆さんもぜひご一読いただければと思います。

この2年後、高知ロータリーが70周年を迎え、私が記念事業の企画委員長、横田さん、吉村さん、西山彰一さんが委員で取り組みを始め、竹下さん、野村茂久さん、森本征彦さん、この3代の会長さんの年度で議論をしました。私は100周年の経験をしたときに勉強したことを念頭に置きながら、記念事業の計画に取りかかりました。

まず、竹下会長が、みんなの意見を聞きましようということで、情報集会で70周年の記念事業について話し合いました。四つのグループに分けて4日間で行われま



したが、第1回の会で、高地会員（校長先生であり、私学連盟の会長もされていて学校教育に大変詳しい方でした）が投げかけた一言が大きな波紋を呼び、教育支援事業につながる引き金になりました。

「短期留学生などの歓迎会や壮行会を見ていて、物見遊山と言っては失礼だけど、これから、よその国へ行ってしっかり勉強をしようという気迫を感じない。そのために、ロータリーはお金の塊をつぎ込んでしまっている。あの方達は、ロータリーがお金を出してあげないと外国に行けない方たちでしょうかね。ロータリーは会員から集めたお金の使い方を間違っはいませんか」こういう問いかけでした。

2日、3日、4日でも、この話をする大半の方が賛成されて、自然に空気として地域のために何かしようというようになっていったわけです。そして、情報委員会で出た意見をもとに2年間、本当に長い長い議論して、意見をまとめて企画書を作りました。

今の高知の状況を見ると、どんどん若い人が外に出て行って、地域を担う人が減っている。高知県の公立高等学校で、毎年1学年ごとに400、500人が9,600円の月謝が払えなくて、全額あるいは半額の免除を受けている。その中でも一生懸命勉強して、高知大学あるいは県立大学に合格する生徒が7、8人いる。けれども、結局お金がなくて学校に行けなかったり、入学しても退学せざるを得ない人がいる。

高知に根ざして、地域の職業人の代表が集まる高知ロータリーとして大事なことは、次代を担う若い人たちを育てて行くことではないだろうか。そういうコンセプト

トで事業の骨格ができました。そのことによって、今まで余り地域と関わりがなかったロータリークラブが、社会に知られていく機会にもなっていくだろうということでした。

年間2人を選んで、卒業まで毎月1万円を援助する。これも、1万円は少ないのではないかという意見も随分ありましたが、高地さんが教育委員会と話す中で、赤貧を洗うような生活をしている人たちが家から大学に通える。1万円の支援をもらえるというのは、ものすごく価値がある。ぜひやって欲しいと言われました。

1学年2名、4年で8名、1人年間12万円として96万円、約100万円が毎年必要です。それを、会費を増やすのではなくて、燦燦基金として、1人が月に10回入れて50万円。ニコニコ箱から50万円。1万円というときさやかな支援ですが、将来的にはもっと大きなものに育てていこう。他クラブの参加にも門戸を開いておこう。公益財団法人にして寄付を受けやすくしよう。ということでスタートしました。

元会員で、西山グループの総帥であった西山利平さんとお話したとき、「物事を始めるのはたやすいですが、続けて維持し、発展させていくには本当に骨が折れる。けれど、もっと難しいのは辞めるときだ」と言われました。私は、この言葉を肝に銘じてやってきました。

いよいよ高知ロータリーも80周年を迎えて、この教育支援事業をもっと発展させていこうというお考えだと聞きました。ぜひ、これを長く続けていただきたいと願います。そして、80周年のご成功をお祈りして、意を尽くせませんが私の話を終わらせていただきます。



9月のお祝い

- | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|--------|
| (会員誕生日) | 武者 弘晃 | 尾木 謙三 | 土本 昭雄 | 藤田 洋子 | 各会員 |
| (配偶者誕生日) | 海治 教子 | 宮地 美帆 | 宮地 憲一 | 亥角 理絵 | |
| | 眞田久美子 | 笠井 幸恵 | 土本 雅子 | 佐竹 真紀 | 各会員配偶者 |
| (結婚記念日) | 松岡 宣明 | 会員 | | | |

◇ 例 会 変 更 ◇					
高知北RC	9月11日	職場例会(三)	高知ロイヤルRC	9月12日	月見夜間例会(旭)
高知中央RC	9月14日	月見夜間例会(城)	高知ロイヤルRC	9月19日	ロータリー休日(旭)
高知南RC	9月21日	ロータリー休日(阪)	高知北RC	9月25日	月見夜間例会(三)
高知中央RC	9月28日	職場例会(城)	高知西RC	9月29日	創立夜間例会(三)
高知RC	10月3日→7日(土)に変更(三)		高知南RC	10月5日	月見例会(阪)
高知中央RC	10月5日→6日(金)に変更(城)		高知ロイヤルRC	10月10日	夜間例会(旭)
高知東RC	10月11日	創立夜間例会(阪)	高知南RC	10月12日→10日(火)に変更(阪)	
高知中央RC	10月12日	ロータリー休日(城)	高知RC	10月17日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	10月17日	ロータリー休日(旭)	高知東RC	10月18日	ロータリー休日(阪)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱

- 野中 朋之 お車代を燦燦基金へ。
- 高村 禎二 } 野中先輩、今日は貴重なお話をありがとうございました。礎を築いてくださったお気持ちを無駄にしない
高橋 明子 } ように頑張って続けてまいりたいと思います。また、今回から山内先生のピアノが復活いたしました。いつもの例会が戻ってまいりました。喜ばしいことです。感謝と嬉しさを込めてニコニコいたします。
- 脇口 宏 8月22日は家内の誕生日に美しい花をお届けくださり、ありがとうございました。家内は息子夫婦からのプレゼントと勘違いして大喜びでした。8月4日から12日までブラジルに行きました。現地に病院を建設しようとする計画です。予定を知らず、当クラブのバナーを持参せず恥をかきました。お詫びにニコニコします。でも、大歓待で楽しい思いをしました。
- 宮地 貴嗣 9月3日(日)13時30分、高知ユナイテッドSCの試合が春野球技場であります。そして、テレビ高知さんで生中継もあります。試合に来られない方はぜひテレビ高知でご観戦ください。ワクワクする試合を期待しニコニコします。
- 竹下 篤範 本日は野中先輩の話、改めて感銘を受けました。私の年度に始まった高知RCの貴重な事業です。若い人が育っていることを大変嬉しく思います。ありがとうございました。
- 中澤 陽一 野中さん、今日は卓話をありがとうございました。ちなみに、私のロータリー入会時のスポンサーは野中さんです。
- 中島 和代 今日、野中さんのお話を久し振りにお聞きすることができました。ロータリーに入会し、体験させていただいたことをいろいろと思い出しました。ありがとうございました。それと、山内先生のピアノも久し振りに聞けたのですが、とても力強くてうれしかったので、ニコニコさせていただきます。
- 高橋 淳二 } 月日の経つのは早いもので、今年が高橋病院の開院50周年の記念の年
高橋 明子 } になります。先日、その祝賀会を開きました。これからはさらなる発展につとめたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
8月29日	(-4)97	66	20	7	78.49
8月15日	盆休み				

● 累計額 [8月29日現在]

ニコニコ箱	280,500円	ロータリー ^{さんさん} 燦燦基金	90,784円	ポリオ募金	98,500円
-------	----------	----------------------------	---------	-------	---------

■次週のプログラム [9月12日]

情報集会報告

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/